



みんなで進めるアマモ場の再生活動 ～ むかしの豊かな海をとりもどすために ～

小さなアマモ育成実験からスタート



横浜でのアマモ場再生は、みなとみらい線馬車道駅の近くにある「万国橋」のすぐそばで、わずか2m×5mの広さのアマモ育成実験からはじまりました。この時は残念ながら失敗しましたが、その失敗した経験は今の活動にいかされています。

金沢湾でのアマモの移植活動



現在海の公園や野島海岸で行っているアマモ場の再生活動は、海底や海岸の清掃活動などを行っている「海をつくる会」のみなさんが地道に取り組んでいたアマモの移植活動がもとになっています。

みんなでいっしょにアマモを育てる



6月
まずタネをつけたアマモの花枝をみんなで集めます。集めた花枝はタネが熟すまで水槽の中で保管します。

7～8月
水槽の底に沈んだタネを集めて一粒一粒ピンセットで拾い集めます。

11月
土を入れた苗床にタネをまいて大切に育てます。

4～5月
元気よく育った苗をみんなで海に移植します。

アマモのタネと苗は神奈川県水産技術センターで大切に育てているんだ。



1月
秋になったら播種シート法とコロイダルシリカ法という方法でタネをまきます。紙ねんどにタネをつけて直接海にまく方法もあります。だれでも簡単にタネがまけます。

戻ってきたアマモ場と生きものたち



写真で黒く見えるところがアマモ場だよ。たった4年で約2000倍に広がった。海の公園のアマモ場もどんどん広がっているよ。



命いっぱいのが戻ってきたんだ！

アマモの中に何かいるよ

あー！アオリイカの卵だ



横浜の海で約30年ぶりにアマモ場にアオリイカの卵が産みつけられたんだ。今年もきっとアマモ場の中でアオリイカの赤ちゃんが生まれているよ。